

世界をよくしたいお菓子 “やさしさ”広げて、学校を創る。



G+SPREAD 代表 若尾守康

2007年に若尾製菓株式会社の社長に就任しました。その年に特定非営利活動法人ワールドビジョンジャパンという団体を知りました。ひと月4,500円で途上国の子どもを支援するというものです、実際には子ども住む地域の学校、井戸、病院などにお金は使われます。とても悩みましたが、煙草をやめれば支援できると考え、エチオピアとタイのチャイルドスポンサーになりました。支援するということが何か気持ちよく、友達が始めてくれたり、セミナーで出逢った人が始めると言ってくれたり、そこには煙草を止められている自分がいました。

とてもありがたうれい感じでした。自分を傷つけていたお金が子ども達の笑顔のなっていることで、生きるという意味を知ったような気がして、エルサルバドルのチャイルドを増やしました。2009年エチオピアツアーが企画されました、チャイルドに逢いに、そしてプロジェクト(学校や井戸や病院などお金の使い道)を見に行くというものです。自分を大きく変えてくれたと感じ申し込み、2009年3月エチオピアに行きました。

親愛なる・みなさま

“やさしさ”を誰かに届けてあげられたら、

とても気持ちのいい気がする……

ちいさな“やさしさ”は、人から人へと送られて

やがて世界に満ちていく……

ちいさな“やさしさ”は

集まれば、きっと大きなちからになる

いただいた”やさしさ”を次の誰かへ……

“やさしさ”が広がれば

きっと世界は豊かで温かくなれる……

“やさしさ”は海を越えて、時を超えて、

将来への希望、子どもたちの夢に

“やさしさ”は未来へと送られていきます”

やさしさ”に感謝いたします。

あなたの幸せをお祈りいたします。

幸せ広がれ 口から国へ

⑤ マサイの蜂蜜を使ったキャンディーを手にする若尾さん。美濃加茂市蜂屋台のジースプレッドで
⑥ 蜂蜜を手掛けているマサイの女性たち。若尾さん提供



アジアやアフリカの発展途上国への寄付金付き菓子を販売している菓子メーカー「ジースプレッド」(美濃加茂市蜂屋台)が、ケニアのマサイ人の女性らが採取した蜂蜜入りのキャンディーを作った。売り上げの5%が支援団体に寄付され、ケニアでの学校建設資金となる。(平井一敏)

社長の若尾守康さん「リーを多くの人に伝えたいと思った」
ア南西部のマサイの村が昨年九月に持ち帰った蜂蜜を使ったキャンディーを開発し、寄付金付き菓子「しあわせの贈り物(ハッピーギフト)」の新商品として一月からオンラインショップで販売を始めた。
「自分たちも貧しいのに、子どもたちの支援を惜しまない。支援が次の支援へとつながっている優しさのスト」
一箱八個入りで税込み五百四十円。二割引きの八箱セットか、三割引きの三十二箱セットを購入した希望者を「ビー・パートナー」

マサイ人の蜂蜜でアメ

美濃加茂の企業 売り上げで小学校建設

とし、それぞれの写真や「いつも笑顔で」といった行動宣言などをフェイスブックで紹介。寄付金が活用された学校のプレートにも名前が記される。
既に百人ほどのパートナーが集まり、来年夏ごろにはマサイの村に新しい小学校舎ができる見通しだ。
若尾さんは「一人に優しくすると、自分も幸せな気持ちになれる。気軽に社会貢献に参加して、優しさの輪が広がればうれしい」と話している。
④ ジースプレッド 0574(28)262

